

小山田宏一先生 ご経歴および著作目録

学歴等

- 1955年11月 鹿児島県生まれ。
- 1979年 3月 同志社大学文学部（日本文化史学専攻）卒業。
- 1979年 6月 大阪府教育委員会文化財保護課考古学技師。
- 1990年 4月 大阪府教育委員会文化財保護課弥生文化博物館開設準備室。
- 1991年 1月 大阪府立弥生文化博物館学芸員。
- 1996年 4月 大阪府土木部（現都市整備部）ダム砂防課狭山池博物館準備担当主査。
- 2001年 3月 大阪府立狭山池博物館学芸員。
- 2003年 4月 大阪府立弥生文化博物館学芸課長。
- 2010年 4月 大阪府立狭山池博物館学芸員。
- 2016年 3月 大阪府定年退職
- 2016年 4月 奈良大学文学部文化財学科教授
- 2020年 4月 奈良大学博物館長
- 2021年 3月 奈良大学退職

○非常勤講師

- 神戸女子大学（2004年 4月～ 2016年 3月）
- 京都大学防災研究所（2018年 4月～ 2019年 3月）

○委員等

- ATC19「遺産遺跡地盤工学アジア地域委員会」委員（2011年 6月～ 2013年 3月）
- 桜井市纏向学研究センター共同研究員（2012年10月～現在）
- 大阪府立狭山池博物館運営審議会委員（2019年12月～ 2021年 3月）

研究実績

(著作)

- 2003 『シンポジウム三角縁神獣鏡』 学生社 (共著).
2012 『北アジアの中の風納土城』 ソウル、学研文化社 (共著).

(論文等)

- 1982 「布留式成立に関する覚書」 森浩一編 『考古学と古代史』 (同志社考古学シリーズⅠ).
1985 「布留式における「型」の採用」 森浩一編 『考古学と移住・移動』 (同志社考古学シリーズⅡ).
1992 「破碎鏡と鏡面重視の鏡」 『弥生文化博物館研究報告』 1.
1993 「画紋帯同向式神獣鏡とその日本への流入時期—鏡からみた「3世紀の歴史的枠組み」の予察—」
『弥生文化博物館研究報告』 2.
1994 「大阪湾沿岸の弥生時代後期の円形周溝墓」 『考古学ジャーナル』 374.
1994 「高坏型銘々食器群成立の史的意義」 『弥生文化博物館研究報告』 3.
1994 「3世紀の鏡—漢鏡7期の流入の始まりと三角縁神獣鏡—」
『第36回埋蔵文化財研究集会 倭人と鏡 発表要旨資料』.
1995 「副葬品」 『季刊考古学 特集 前期古墳とその時代』 52.
1996 「近畿地方礫年代の再検討」 『第40回埋蔵文化財研究集会 考古学と実年代 発表要旨資料』.
1998 「亀井遺跡の堤と古代の治水」 森浩一編 『古代探求』 中央公論社.
1999 「古代の開発と治水」 『狭山池』 論考編.
2000 「3世紀の鏡と「おおやまと古墳群」」 伊達宗泰編 『古代「おおやまと」を探る』 学生社.
2000 「本格的な池溝開発はいつから始まったか」
歴史教育者協議会編 『世界史から見た日本の歴史38話』 文英堂.
2000 「三角縁神獣鏡の生産体制とその動向」 『東アジアの古代文化』 102.
2000 「ホケノ山墳墓の画紋帯同向式神獣鏡」 『東アジアの古代文化』 105.
2002 「古代の治水灌漑の土木技術」 『河川』 2002-5号.
2002 「百済の土木技術」 『古代東亜細亜と百済』 百済研究叢書12、忠南大学百済研究所、ソウル.
2002 「鏡の多量副葬」 『日本考古学協会2002年度榎原大会研究発表会資料集』.
2003 「土木遺産の展示と地域アイデンティティーの形成」 『河川』 2003-1号.
2003 「古代河内の開発と渡来人」 森浩一編 『検証 古代日本と百済』 大巧社.
2004 「礼文島と響灘の花弁形貝製品」 『弥生のころの北海道』 大阪府立弥生文化博物館図録.
2004 「古墳時代前期前半代の暦年代」 寺沢薫編 『考古資料大観 10 遺構・遺物』 小学館.
2005 「関東弥生中期の水田開発技術」 『東海の弥生フロンティア』 大阪府立弥生文化博物館図録.
2006 「学史をになう学術用語—小林行雄の「様式」—」 『弥生文化博物館研究報告』 6.
2006 「狭山池の堤の構造 (1)」 『大阪府立狭山池博物館研究報告』 3.
2005 「築堤と灌漑」 森浩一編 『水とまつりの古代史』 大巧社.
2007 「東大寺猪名庄の築堤開田」 『大阪府立狭山池博物館研究報告』 4.
2008 「碧骨堤の太宗15年の改修とそれ以前」 『大阪府立狭山池博物館研究報告』 5.

- 2008 「日本臨海部の開発方式」『東アジア海文明の広がりと変容—渤海・黄海の文化交流』国際学術シンポジウム報告集（日本学術振興会アジア研究教育拠点事業『東アジア海文明の歴史と環境』）.
- 2008 「敷葉工法の再検討—天然材料を用いた土構造物の補強—」『季刊考古学』102.
- 2009 「天然材料を用いた土構造物の補強と保護」『大阪府立狭山池博物館研究報告』6.
- 2009 「古代日本の天然材料を用いた土構造物の補強と保護」『東アジア海文明の諸相』国際シンポジウム報告集（日本学術振興会アジア研究教育拠点事業「東アジア海文明の歴史と環境」）.
- 2010 「東アジアの中の狭山池」『狭山池シンポジウム報告集2010』大阪狭山市教育委員会.
- 2010 「古代治水構造物とその技術」『帝京大学山梨文化財研究所研究報告』第14集.
- 2010 「日本に於ける古代水利遺蹟の保存と活用事例」『中原文化研究』第14集、忠北大学校中原文化研究所.
- 2010 「東アジア海沿岸低地の開発類型—鏡湖・碧骨堤・東大寺猪名荘」『東アジア海文明の歴史と環境—中日韓研究者の語る東アジア海文明の未来像—』国際シンポジウム報告集（日本学術振興会アジア研究教育拠点事業「東アジア海文明の歴史と環境」）.
- 2011 「東アジア沿海低地の開発方式」『大阪府立狭山池博物館研究報告』7.
- 2011 「古代と現代の治水—現代治水事業の原点をさぐる—」『河川文化を語る会講演集』35.
- 2011 「北近畿三世紀の墳墓に副葬された中国鏡」
二上山博物館編『邪馬台国時代の丹波・丹後・但馬と大和』学生社.
- 2011 「古代日本の堰の構造と「敷葉工法」」『古代北アジアの水利と祭祀』ソウル、学研文化社.
- 2011 「古代日本の補強工法」『第46回地盤工学研究発表会（遺跡地盤工学分野）』講演論文集.
- 2012 「近世狭山池尺八樋の成立背景」『中国水利史研究』41.
- 2013 「天然材料を敷設する河川工法の系譜」『考古学ジャーナル』639.
- 2013 「「東アジア海」が結ぶ沿海低地の開発方式」鶴間和幸・葛剣雄編著『東アジア海文明の歴史と環境』学習院大学東洋文化研究叢書、東方書店.
- 2013 「東アジア的視点で見る古代日本の低湿地灌漑」『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』第27号.
- 2013 「近世狭山池の水利変革」『近世狭山池の水利変革』大阪府立狭山池博物館図録.
- 2014 「重源の改修と狭山池水下の土地開発」『重源と東大寺』大阪狭山市郷土資料館図録.
- 2014 「古代日韓溜池の比較」『水利・土木考古学の現状と課題』（財）ウリ文化財研究院・水利土木研究会共同国際学術発表会資料集.
- 2015 「三国から高麗時代に見る治水灌漑施設の歴史的語彙」
『森浩一先生に学ぶ—森浩一先生追悼論集—』（同志社大学考古学シリーズXI）.
- 2015 「日本古代水利施設と碧骨堤」『東アジア古代農耕水利と金堤碧骨堤の位相』
金堤碧骨堤国際学術シンポジウム資料集.
- 2017 「近畿地方における土木遺跡」『日本の中の百済 近畿地域 I』海外百済文化財資料集2、韓国忠清南道歴史文化研究院.
- 2018 「古代善堤の基礎的研究」『大阪府立狭山池博物館研究報告』9.
- 2018 「古代日韓補強土工法の俯瞰的整理」『纏向学研究』6.
- 2018 「三国から朝鮮時代前期にかけての溜池の類型とその歴史的背景」『構築と交流の考古学—工樂善通先生傘寿記念論集』雄山閣.
- 2020 「難波堀江の開削地点とその地形環境に適応した治水施設」『大阪府立狭山池博物館研究報告』11.

2020 「難波堀江の学際的研究」(共著)『大阪市文化財協会研究紀要』21.

2021 「東アジアにおける原の辻遺跡船着場突堤の土木技術」『土を盛り、石を築く—土木・建築技術にみる東アジア交流—』令和2年度東アジア国際シンポジウム資料集、長崎県埋蔵文化財センター.

2021 「狭山池を知り、もっと活かす」『狭山池シンポジウム2019記録集』大阪狭山市教育委員会.